



R5年度「ファミリーキャンプ」実施報告書



I 事業の概要

1 期日 令和5年8月26日(土)～27日(日)

2 日程

8/26(土)		8/27(日)	
10:30	受付開始	7:00	起床・テント干し・掃除
11:00	出合いのつどい、レクリエーション	7:30	朝食(カートンドッグ)
12:00	昼食	8:30	テント片づけ・荷物移動
13:00	館内説明・テント説明	9:00	谷川探検(説明)
14:00	テント設営(休憩)着替え	9:20	谷川探検出発
16:00	魚つかみ体験 ※雨天時は簡易プールによる魚つかみ		※雨天時はニュースポーツなど
17:00	夕食 野炊場でバーベキュー	12:00	シャワー
18:30	片づけ完了	12:30	昼食
19:30	キャンプファイヤー	13:30	感想記入
20:30	入浴(30分×2ローテ)	14:00	別れのつどい
22:00	就寝	14:30	解散

3 趣旨

アウトドアでの様々な活動をとおして、親子の絆を深めるとともに、自然の中で過ごす楽しさを味わう。

4 応募者数 34家族 96人

5 当日参加者数 16家族 41人(抽選により決定)

6 参加費 3600円(食事代、活動費、保険料)

II 実施状況

■ 1日目の活動 <8月26日(土) 天候 くもり >

令和2年からコロナ禍の影響で開催が中止になっていたファミリーキャンプだったが、今回、久しぶりの開催となった。当日は雨の予報が出ており、集いの広場でのテント設営ができるかどうか相談しながらの実施となった。

出合いのつどいの時刻は、午前中の準備などを考慮して11時開催と余裕を持った時刻でスタートした。交流レクリエーションでは、様々なじゃんけんゲームの中で、どのファミリーも自然と笑顔が見られた。

昼食後は、各ファミリーでテント設営を行った。集いの広場でのテント配置を区切って番号を決めていたため、参加された方もスムーズな移動ができた。2人で参加された家族も多く、指導員が補助しながら設営されていた。暑い中ではあったが、設営後は各部屋で着替えや休んでもらうなど余裕を持った時間設定とした。

魚つかみ体験は河川プールで行った。はじめは、素手で魚を捕まえることはなかなか難しいのではないかと予想していたが、思っていた以上に魚を素手で捕まえることができていた。途

中でたもや追い込み網を使って、参加された方全員が魚つかみ体験を行うことができた。魚を捕まえるのに、子どもたちだけでなく保護者の方も楽しみながら行っている姿が見られた。

夕食では、野外炊飯棟でバーベキューを行い、魚つかみで捕まえた魚も焼いた。バーベキューコンロを囲んでの食事をする中で、ファミリー同士も打ち解けているように感じた。

食事後は、天体広場でキャンプファイヤーを行った。代表の子ども4名が火の守として参加した。親睦の火の時間では、指導員がレクリエーションを行い、大盛り上がりだった。夜は、どのファミリーもテント泊をすることができた。



<河川プールで魚つかみ！> <バーベキューおいしい！> <天体広場でキャンプファイヤー！>

■ 2日目の活動 <8月27日(日) 天候 くもり >

2日目の朝は、天候は崩れることはなく気温も過ごしやすい気温であった。朝食は、食堂横でカートンドッグを行った。アルミホイルと牛乳パックでパンが焼ける様子に驚いている姿が見られた。どのファミリーも上手に焼けていておいしそうにホットドッグを食べていた。しかし、カートンドッグの出来上がるスピードが各ファミリーごとで違っていたため、谷川探検の説明が30分程度遅れてしまうことになった。

谷川探検の説明後に自然の家を出発した。谷川探検入口のターザンロープ、人工ダムと滝つぼダイブと2つのグループに分かれ、時間になったら入れ替わるようにした。それぞれのグループには低学年の子どもがいたため、危険個所にあらかじめ指導員がサポートしながら安全に活動することができた。しかし、所に帰った後のシャワーの時間や昼食の時間を含めて予定よりも1時間程度遅れることとなってしまい、参加された方に余裕がないような時間配分になってしまった。

別れの集いでは、時間がおしてしまっていたこともあり所長の挨拶のみになってしまったが多くの方から「ありがとうございました。」と言っていただけ、満足された様子が伺えた。



<おいしく焼けるかな？> <元気に滝つぼへダイブ！> <冷たい水にも入ったよ！>

Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》(参加者16家族42名 家族ごとにアンケート 回収率100%)

事業全体の満足度は、16家族のうち、「満足」が16家族であった。魚つかみ、バーベ

キュー、キャンプFや谷川探検など予定されていた活動をすべて行うことができたことから満足していただけたのではと考える。また、コロナ禍でなかなか今回のような活動をすることができていなかったため、家族揃っての活動で参加された方に満足していただけたのではないかと思う。

《参加者の感想》(抜粋)

- ・親子2人で参加しましたが、お互いに協力し合って楽しめたと思います。キャンプもなかなか母親1人では連れていけないので良い体験になりました。
- ・魚つかみ、BBQ、キャンプF、谷川探検とすべて子供と一緒に楽しくできました。テントで寝るのが初めてだったので少し不安であったが、ぐっすり寝ていました。
- ・コロナで、暗かった日々がやっと明けてキャンプに参加することで、小学生らしい夏休みを過ごさせてやれたことが親として大変うれしいです。
- ・初めて家族でキャンプをしたのですべてが楽しかったです。特に、魚つかみ体験と谷川探検が楽しかったです。
- ・普段アウトドアをさせる機会がなく、娘も初めてのテント泊にとってもワクワクしており、実際に設営から片付けまで自分たちで出来てよかったです。

2 成 果

今年度のファミリーキャンプの感想では、「とても充実した時間を過ごすことができた。」
「子供と一緒に楽しく活動できた。」などといった感想をたくさんいただくことができた。ねらいとしていた「親子の絆を深める」「自然の中での様々な活動を通して、アウトドア活動の楽しさを味わう」ことは、今回の事業でしっかりできたと考える。

天候にも恵まれたこともあり、魚つかみ、谷川探検などのすべての活動が予定どおりに行うことができ、活動の中で自然を体験するとともに親子で楽しむことができた。また、活動の中で、保護者同士も交流を深めた様子が伺えた。親子だけでなく、ファミリー同士でつながり楽しんでいただけたファミリーキャンプとなった。

3 課 題

- ・今回のファミリーキャンプでは、家族番号や入浴のA Bなどグループ分けの単位が多かったため、混乱を招かないようにグループ分けを1つのものを基本として活動するべきだった。
- ・バーベキューの準備や片付けと参加者にしていただくことでより主体的に楽しんでもらえる作業がある。全て指導員がしてしまうと達成感が得られにくくなってしまったため、どこまで準備すべきかを考える必要があった。
- ・連日熱中症警戒アラートが発令されていたため、参加者の安全のためにも時期をずらしてより涼しく、安全な時期での開催を検討すべきである。
- ・指導員が安全に活動するためにすべての危険個所についてしまって時間がかかってしまった。保護者の方にも手伝ってもらいながら活動を行っていきたい。